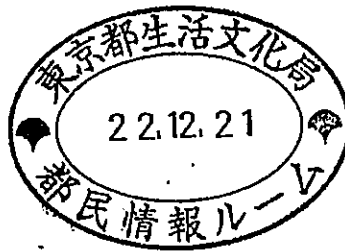


「10年後の東京」への実行プログラム

2011



平成 22 (2010) 年 12 月

東京都

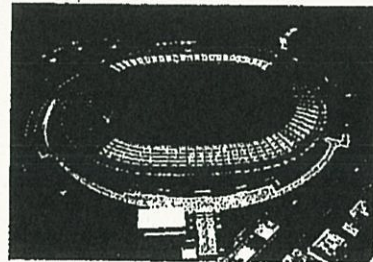
V スポーツ・文化の発信交流拠点

- 霞ヶ丘、武蔵野の森、駒沢などスポーツ拠点が整備され、多くの世界大会を開催し、東京は国際スポーツ都市として名を馳せ、東京育ちのアスリートが活躍している。
- 都内の数多くの公共空間が若手アーティストの創作活動の場になるとともに、東京で育ったアーティストが世界で発信し、海外からも可能性ある若手アーティストが多数来訪している。
- 基礎学力と体力を土台に、個性や独創性を尊重する世界の範となる教育モデルが確立し、世界で活躍できる有為な人材が育成されている。

進化した都市像の一端

1 国際スポーツ都市・東京

- 霞ヶ丘競技場一帯は、神宮スポーツクラスターとして、特区制度の活用などにより整備され、各種世界大会が活発に開催
- 東京育ちのアスリートが活躍し、都民に夢や活力を付与
- 遊歩道、自転車専用レーン、ジョギングコース、ジョギングサポートステーションなどが各所に整備され、いつでも、どこでもスポーツができる環境が創出
- 各地のスポーツ施設を拠点として、地域では子供から高齢者、障害者も含めて誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、心身とも健康に生活



2 若手アーティストの飛躍

- 運河倉庫街や、多くの人の目に触れる公共空間が若手アーティストの創作活動、発信の場として提供され、東京の新しい観光名所
- 企業なども社会貢献への意識が高まり、メセナ活動の一環として若手アーティストを継続的に発掘、育成
- 東京で力をつけたヘブンアーティストが世界へ進出
- 上野の森が一大文化拠点になっているほか、都内の博物館、美術館などの文化施設はリニューアルされ、東京の文化的な魅力を発信

